

風の人と土の人が交わる場

2008年に黒石市が買い取った「松ノ湯」を地域性を考えながら再構築していくー
4回の授業は、松ノ湯を次世代に生かし続けるための持続可能なデザインー
また、2009年に「重要文化財」に指定されたことから「外観の維持」は必須であるー
観光客と地域住民とを結ぶデザインとはー
黒石固有のアイデンティティを生かしたデザインとはー
私たち学生が提案する「風の人」ならではのデザインとはー

黒石の人々からやってくる風のような存在
土の人ー地元で生活する土着の人
→ 風と土が出会う場をデザイン

黒石の「こみせ」とまちをつなぐデザインを考えよう
志村 正敏 (神奈川大学)
船橋 沙季 (弘前大学)
岡田 佳大 (東京工大)
小山 洋介 (工学大院)
小早川誠樹 (明治大学)
津田 純枝 (弘前大学)
2009.8.19-23

昼の力

「地帯地笑(ちさんちしょう)」
地域で生活する人、観光客、あらゆる世代が参加できるような場ができる
・・・笑顔が増えていく！
そして、そのような交流が出来ていくと地域が元気になる。



松ノ湯はあらゆる結び目になっている

- ・こみせとよされ橋町
- ・観光客と地域住民
- ・若者とまちなか(黒石)



いろいろな世代が交流できる場

こどもや若者や大人 たち

あらゆる結び目

よされ橋町とこみせ
橋と夜

夜の力

「大人のたしなみ」
夜はお酒を楽しみ、文化も楽しむ
創造的な空間に・・・
よされ橋町から松ノ湯の
「ふるBAR」へ入り込む。
ここでの提案は、地域の人が
活用できる楽しいの場。



同じ空間を時間によって
使い方を転換させる。

